

ガーデンシティふかや推進室[ふかや緑の王国・深谷市櫛引24-2(花植木流通センター隣)] ☎551-5551
花を愛し、人を愛し、地域を愛するまちづくり!!

ガーデニング教室参加者募集!

モルタルで麦わら帽子のオブジェを作ろう(多肉植物付き)

とき 9月14日(水)午前10時~午後2時30分(昼休憩含む)

定員 先着12人

参加料 2,800円(材料費を含む)

講師 大澤八千代氏(モルタルデコマイスター)



▲作品イメージ

申し込み 8月12日(金)午前8時30分から電話でふかや緑の王国へ(1回の申し込みで2人まで)
※昼食は各自で持参してください。

草木染め教室(サルスベリで墨色に染めよう)

とき 9月29日(水)午前10時~正午

定員 先着12人

参加料 2,000円(材料費を含む)

講師 小池啓子氏((一財)日本手工芸指導協会)



▲昨年の教室の様子

申し込み 8月12日(金)午前8時30分から電話でふかや緑の王国へ(1回の申し込みで2人まで)

新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、中止になる場合があります。体験および教室では各自でマスクを準備し感染予防対策をしてください。

ボランティア募集中!皆さんも一緒に活動しませんか!

~花と緑で広がるまちづくり!~ 月に1回、週に1回、自分の都合でほんの数時間だけでも参加してみませんか!



市民ガーデニングボランティア

JR深谷駅北口ステーションガーデン、深谷駅通り、国道17号、深谷城址公園、秩父鉄道武川駅南口の5カ所の花壇を管理しています。参加できる日が少なくても大丈夫です。みなさんと楽しく花壇を整備して、深谷市をきれいに彩りませんか。



ふかや緑の王国ボランティア

ふかや緑の王国は「市民がつくり市民が守り育てる 市民の森」。市民との協働作業で成長する王国で皆さんと楽しく活動してみませんか?四季折々の催しも、ボランティアの力で開催しています。



学生ボランティア・イベント限定ボランティア

みなさんも、ふかや緑の王国で開催されるイベント限定ボランティアとして参加してみませんか。



深谷アダプトプログラム団体紹介

アダプトプログラムとは?

市民・学校・事業者の皆さんが里親となり、公園や道路、緑地などの公共空間の緑化・美化・清掃活動を行うことに対して、市が支援する制度です。



▲町裏公園での活動の様子

上柴町西四丁目自治会

令和3年4月に立ち上げ、町裏公園と上柴中央公園の除草・清掃・花壇植栽の活動を月1回程度行っています。自治会員全員で協力し地域の美化に努め、訪れる皆さんに気持ちよく過ごしていただけるよう頑張っています。

『ガーデンシティふかや』『ふかや緑の王国』ホームページのほか、ツイッター(@garden5551)、『ふかや緑の王国』フェイスブックもご覧ください。



手話 de おはなし



手話に興味はあるけど難しそう…。そんなかたも、身近なあいさつからチャレンジしてみよう!

(手話協力 深谷市聴覚障害福祉協会)

うれしい



湾曲した両手の指先を胸に向け、交互に、上下に動かす。

悲しい



右手の親指と人差し指をつまみ、目元から頬に沿って下ろす。

障害福祉課 ☎ 571-1011 FAX 574-6667

畠山重忠を知る

13人の合議制



武蔵武士の鑑

畠山重忠

正治元年(1199年)に源頼朝が53歳で突如亡くなり、死に際し、畠山重忠はその後のことを託されました。しかし、息子である18歳の頼朝が将軍になると、その若さから、実力も人望も備わっていないと見なされ、頼朝の独断を防ぐため、13人の幕府宿老による集団指導体制ができました。一見、民主的に見えますが、その実態は微妙な対立を言ひながら合意といえるものでした。この、幕府の中枢を担う合議制のメンバーは、北条時政・義時(頼朝の外戚)、比企能・安達盛長・八田知家(頼朝の乳母の親族)、梶原景時(頼朝の乳母夫)、三浦義澄・和田義盛(旗上げ時)

らの協力者である三浦一族、足立遠元(実務能力の高い武蔵の有力者)、大江広元・三善康信・中原親能(二階堂行政(幕府の行政官)で、内訌は9人の武士と4人の事務官僚(文士)から成り、文士が思いのほか重要視されていたことがわかります。そして、頼朝が不遇な時期から付き従った者が中心となっており、彼らにとっては先行投資のたまものだったことでしょう。やや異色なのは景時です。重忠と同様、平氏方にいた経緯を持ちますが、実務能力に優れ、頼朝の忠実な目として重用されました。また、石橋山合戦時に、敗残の頼朝を見逃したという逸話もあり、多くの人を偽りの報告によっておとしめ、主君にこびへつらう臣下として、描かれることが多い景時ですが、権力を集中していく頼朝の負の部分を一身に受けていたとも考えられます。頼朝の死後を託された重忠が、13人の中に入っていない理由は、このあたりであり、その勢力は有用であると同時に警戒されるものだったのです。